

2021
元旦礼拝

詩篇96編

「新しい歌を
主に歌え」

2021年1月1日11時



【今日のアウトライン】

I. エルサレムに上った神の栄光

～喜び踊ったダビデ王～

II. イエスのエルサレム入城

～メシアの初臨～

III. 神の栄光に満たされる世界へ

～今、メシアの再臨を待ち望む～



ガリラヤ湖の朝日



I.エルサレムに上った神の栄光

～喜び踊ったダビデ王～

【エルサレムに上った神の栄光】

- ダビデ王は、エルサレムを占領した後、**契約の箱**をエルサレムに運び上った。そのことを歌ったのが、この詩篇96篇。
- 人類の墮罪以来、地上を去った**神の栄光**が、再び宿ったのが、幕屋の**契約の箱**。イスラエルが神の律法に従い造ったもの。
- 荒野の旅の後、約束の地に入って数百年、都となるエルサレムに、**神の栄光**が初めて運び上げられた。



【詩篇96篇1～6節】

新しい歌を【主】に歌え。全地よ【主】に歌え。
【主】に歌え。御名をほめたたえよ。
日から日へと御救いの良い知らせを告げよ。
主の栄光を国々の間で語り告げよ。
その奇しいみわざをあらゆる民の間で。
まことに【主】は大いなる方 大いに賛美される方。
すべての神々にまさって恐れられる方だ。

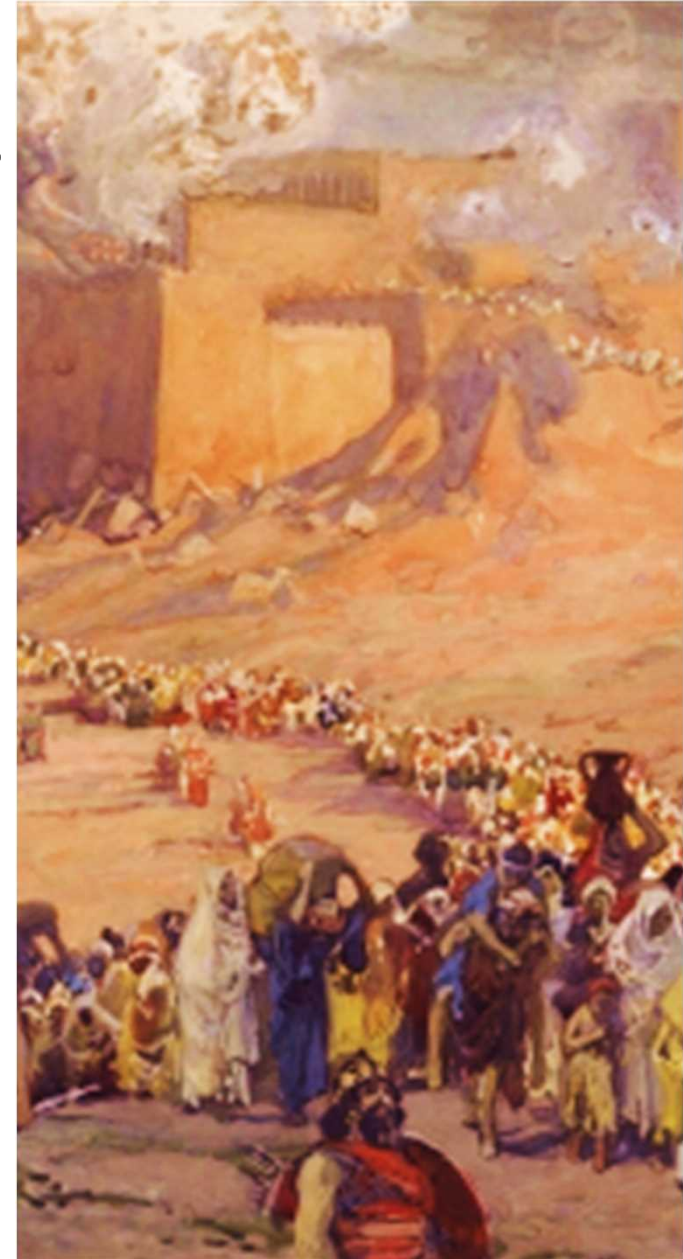
まことにどの民の神々もみな偽りだ。
しかし【主】は天をお造りになった。
威厳と威光は御前にあり
力と輝きは主の聖所にある。



オリーブ山の朝焼け

【イスラエルへのメシア預言】

- 神はダビデ王の子孫に、**メシア**誕生を予告された。
苦難の中、ダビデを支えたのは主の約束だった。
- 次のソロモン王の時代に神殿が築かれ、
神の栄光は、エルサレムの神殿に宿った。
- しかし、イスラエルが神に背き、罪を重ねた末に、
神の栄光は、エルサレムの神殿を去った。
- 異国に蹂躪される苦しみの中、
イスラエルは、メシアを待ち望み続けた。
聖書に約束された、来るべき**メシア**こそ、
エルサレムに、再び**神の栄光**を
もたらされる方だと信じて。



【詩篇96篇7～13節】

もろもろの民の諸族よ【主】に帰せよ。栄光と力を【主】に帰せよ。
御名の栄光を【主】に帰せよ。ささげ物を携えて主の大庭に入れ。
聖なる装いをして【主】にひれ伏せ。全地よ主の御前におののけ。
国々の間で言え。「【主】は王である。まことに世界は堅く据えられ
揺るがない。主は公正をもって諸国の民をさばかれる。」
天は喜び地は小躍りし海とそこに満ちているものは鳴りとどろけ。
野とそこにあるものはみな喜び躍れ。
そのとき森の木々もみな喜び歌う。【主】の御前で。
主は必ず来られる。地をさばくために来られる。
主は義をもって世界をその真実をもって諸国の民をさばかれる。

Ⅱ. イエスのエルサレム入城

～メシアの初臨～

ガリラヤ湖 早朝の漁

【メシア誕生】

- 2千年前、約束されたメシアは誕生された。
ダビデの子孫として、ベツレヘムで。
- **神の栄光**をその身に宿されながら、
無力な赤子として、人として誕生したメシア。
- メシアとしての使命は、30歳の時開始された。
メシア到来の福音を告げ、聖書を解き明かし、
様々な奇跡により、メシアの証拠を示された。



【再びエルサレムに上った神の栄光】

■ イスラエルは、公にメシアを拒絶した。

■ 3年半の公生涯の最後、エルサレムに入城したメシア。熱狂した群衆が、王なるメシアとしてイエスを迎え入れた。

■ ダビデが契約の箱を運び上げた時のように、神の栄光・メシアが都に上られたのだ。

■ しかし、メシアに与えられた使命は、人々の罪を贖う犠牲の子羊として捧げられること。



【辱めの極めを受けたメシア、イエス・キリスト】

- イエスは捕らえられ、不法な裁判により、支配者ローマによる十字架刑に定められた。
- イスラエルとすべての異邦人の受けるべき神の怒りの杯を、イエスが飲み干されたのだ。
- 十字架上のイエスの叫びが、心に刺さる。
「主よ。彼らの罪をおゆるしてください。
自分が何をしているのか。分からないのです」
- 贖いの業を成し遂げられ、メシアは死んで葬られた。



【復活し、天に昇ったメシア】

- 三日後、メシアは死を打ち破って復活された。多くの弟子達が、驚愕の奇跡の目撃者となった。
- メシアは、福音宣教の使命を弟子達に託し、栄光の姿で、天に昇られた。
- 昇天から10日後、エルサレムにいた弟子達に、神の霊である聖霊が降った。
- 神の力を受けた弟子達は、命も厭わず伝えていった。メシアなる主イエスは、私たちの罪のため、十字架にかけられ、死んで葬られ、復活されたと



Ⅲ. 神の栄光に満たされる世界へ

～今、メシアの再臨を待ち望む～

雨期の荒野に咲くアネモネ

詩篇96篇13節

主は必ず来られる。地をさばくために来られる。
主は義をもって世界を
その真実をもって 諸国の民をさばかれる。

ガリラヤ湖の朝日

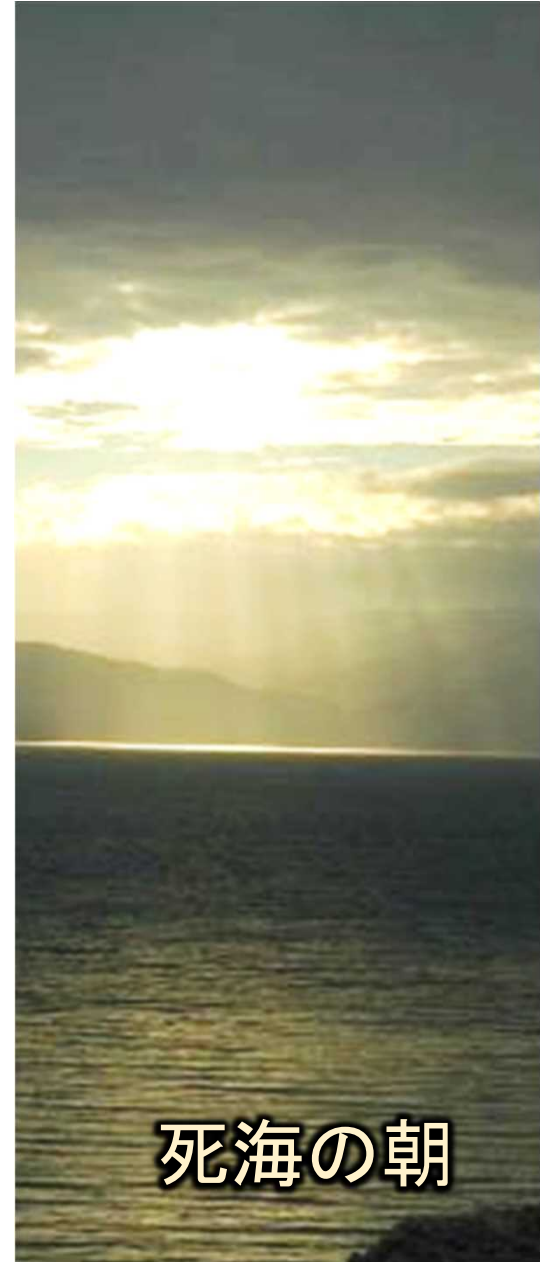
【メシア、イエス・キリストは、再び来られる】

■ 世の終わり、メシアは、裁き主として再臨される。

■ メシアは、ただ福音を信じて救われたすべての者を一瞬にして引き上げられる。それが、携挙。その後、世界は、7年間の大災厄、大患難時代へと突入する。

■ 大患難時代は、イスラエルと人類への裁きの時。民族殲滅の絶望的危機の中、イスラエルは悔い改め、自分たちが十字架で殺したイエスこそ、メシアと信じる。

■ メシアは再臨し、すべての悪と罪人を裁き、**神の栄光**に満ちあふれた世界を回復される。

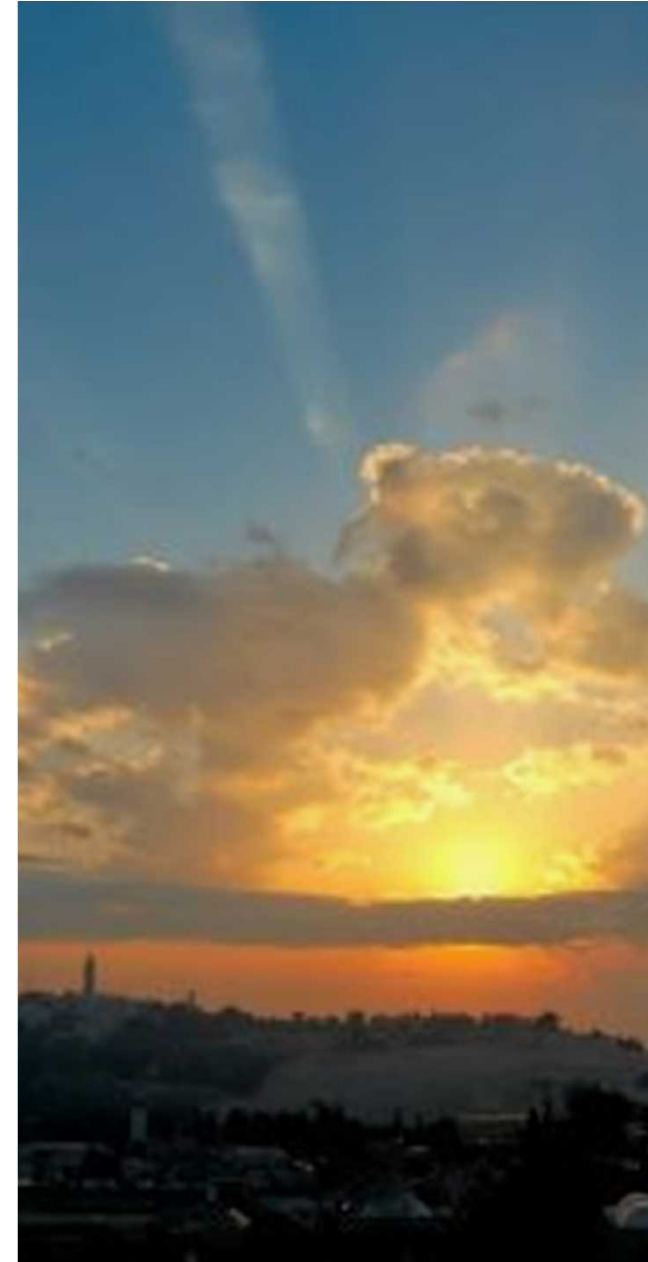


死海の朝

【終末・イスラエルの悔い改め】 ゼカリヤ書 12:10

「わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと嘆願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見て、ひとり子を失って嘆くかのように、その者のために嘆き、長子を失って激しく泣くかのように、その者のために激しく泣く。」

- メシアを拒絶し、エルサレムの滅亡を招いたイスラエル。離散の民を、それでも主が守られ続けてきた。
- 不信仰のまま、再び約束の地に集められつつあるイスラエルは、大患難時代の最後の裁きを経て、主イエスをメシアと信じる信仰に導き入れられる。



【2021年も、変わらず主を待ち望む】

- 旧約時代の聖徒たちも、新約時代の使徒たちも地上における神の国の実現を待ち焦がれてきた。
- メシアは再び来られ、世界に神の栄光が満ちあふれる。これは、神の目からは、すでに成し遂げられたこと。神の時が来れば、たちまち実現される。
- ますます混沌が深まる2021年に、私たちが立ち続けるべきは、変わらない主の約束。十字架で救いの業を成し遂げられた主イエスは、裁き主として再び来られる。どうか、福音を信じて、この無償の救いを受け取られるように。変わらぬ使命に遣わされて行こう。



「天のお父さま。

あなたに背(そむ)き、離(はな)れていた
わたしの罪(つみ)を ゆるしてください。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

再臨(さいりん)の主イエスを 待(ま)ち望(のぞ)みつつ、

主(しゅ)に、新(あたらし)しい歌(うた)を ささげます。

主は、まもなく来られます。主の約束(やくそく)に信頼(しんらい)して、

福音宣教(ふくいんせんきょう)の 変わらぬ使命(しめい)に

遣(つか)わしてください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの

御名(みな)によって 祈(いの)ります。アーメン」